

中頓別中学校校歌



中頓別中学校校歌

作詞 時雨音羽
作曲 牧野統羽

- 一、めぐる山脈 色さえて
花咲きかおる 旭台
希望の血潮 たぎらせて
すべてを清く いつくしみ
学びの道を 究めよう
- 二、互いに譲る まごころの
融け合う処 日は和む
仲よく強く 手を組んで
天地の愛を しみじみと
その日に活かそう いぎ共に
- 三、故郷豊かに 身を強く
光に磨け このこころ
ゆくては遙か 栄えある
平和を讃え 勤勉の
みのりの中に 世を学べ

校 歌

制定 昭和24年11月1日

独立校舎の落成を機会に懸案の校歌制定を企図し、終戦後稚内市に居住していた詩人時雨音羽氏に作詞を依頼した。

氏は報徳精神を信条として堅実な歩みをつづけている純農村、中頓別地方の人情・風物を克く知っていたので、これにはぐくまれる中頓別中学校生徒は至誠協和を校訓として「健康」「勤勉」「豊穰」ゆたかならんとするの意欲を一層振起こすべきであることを充分解されて快諾。上の作詞を寄せられた。

作曲も全氏の誌願を生かすため、最初、氏は一任の予定であったが、予算と落成式切迫の関係から、これは当時北海道立札幌女子高等学校教諭で（その後札幌北高等学校教諭）音楽科を担当されていた牧野統氏をわずらわした。

かくして出来た中頓別中学校校歌は昭和24年11月1日、町制施行の佳日を卜して挙行された新校舎落成式に正式に力強く合唱発表され、中頓別中学校生徒たる誇りとその修練意欲を一段と昂揚、多数の参列者に多大の感銘を与えた。

中嶋 別 中 学 校 歌

原 稿 音 楽 作 曲
歌 詞 統 一 作 曲

mp

mp

mp

mp

mp

mp

mp

mp

mp

mp

cresc.

cresc.

cresc.

cresc.

cresc.

cresc.

cresc.

cresc.

cresc.

cresc.